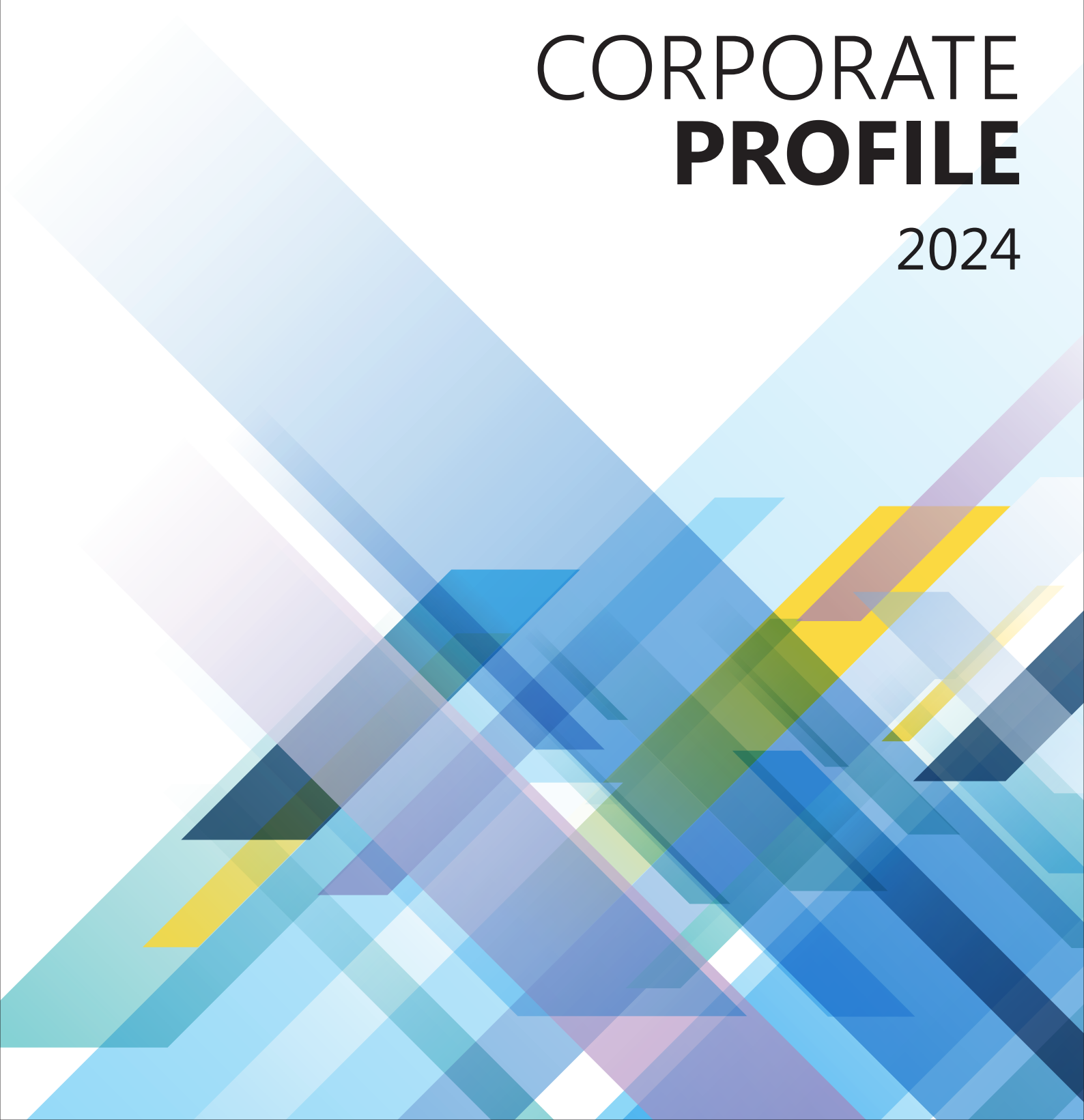



**ZUKEN**

CORPORATE  
**PROFILE**

2024





# The Partner For Success

## 会長メッセージ

革新的な技術の登場、人々の価値観の変化、多様な社会課題への対応により、私たちを取り巻く世界は大きく変化しています。モノづくり企業は、従来のように性能や技術を追求するだけでなく、製品を通じた新たな価値づくりが求められ、モノづくりプロセスの革新を進めようとしています。

当社は、創業以来、「ソフトウェアでモノづくりを変え、未来のモノづくりを託せるパートナーとなる」という強い想いで歩んでまいりました。モノづくりが大きく変わろうとする今、私たちもまた提供価値を一層高め、未来のモノづくりを先導するためにさらなる飛躍を遂げなければなりません。そして、そのための準備を着実に進めてきています。

### The Partner For Success

今こそ、その真価が問われています。モノづくりを通してお客様の成功に貢献するソリューションを追求してきた図研ならではの組織能力を最大限にいかして、お客様のイノベーションに、そしてより豊かな社会の実現に貢献してまいります。

代表取締役会長 金子 真人



本社・中央研究所 正面玄関の現代彫刻「風景の指輪」  
お客様と図研のエンゲージメントを象徴しています。

# Our Value

未来のモノづくりを託せるパートナー

## エンジニアリングITのチカラで 持続可能な社会をつくる



持続可能なモノづくり・価値づくり



The Partner For Success

## 社長メッセージ

### 変化に強いモノづくり環境を目指して

私たちを取り巻く社会はテクノロジーによって大きく変化し、製造業もまたその変化に適応することでモノづくりを進化させてきました。私たち図研は、ソフトウェアの力でこうした製造業を支え、世界の様々な分野のお客様のモノづくりの課題解決を通じて、数多くのベストプラクティスを学んできました。そして、それをパッケージソフトウェアとして価値を高めて提供することにより、多くのお客様のエンジニアリングプロセスの効率化や高度化に貢献しています。

近年、人工知能技術の急速な発展とその適用範囲の広がりを見れば明らかのように、テクノロジーが社会に与える影響の大きさとスピードはこれまでと比べものにならないほど高まっています。また、パンデミックや世界的な政治経済情勢など、私たちが直面する社会課題はコントロールすることが難しく、先行きを予測し備えることさえ難しい世の中になりつつあります。

このような状況下において、これからの製造業におけるエンジニアリングプロセスは、将来起こりうる変化に対して強く、しなやかに適応していく能力を備えていなければならないと考えています。

図研がエンジニアリングプロセス改革提案の中心に据えているMBSEは、もともとトライ&エラーを重ねることによる品質向上が難しい宇宙開発などに使われてきた手法です。開発の初期段階で想定されるありとあらゆる要件を整理し矛盾をなくすことで、複雑な製品開発を成功に導くことができます。これにより、たとえ開発途中で要件が追加・変更されても、すぐに影響範囲を特定し開発を修正することができ、高品質なモノづくりにつなげることができます。

私たちは、このMBSEという考え方をベースにしたエンジニアリングプロセス改革が製造業をよりしなやかで強靱なものにしていくと確信しています。現在、多くのお客様から関心をいただき、これからのモノづくりを見据えた変革プロジェクトを進めています。こうしたプロジェクトを通して、図研ならではの新たなソリューションを生み出していきたいと考えています。そして、製造業の革新に貢献するパートナーとしての力を一層高めてまいります。



代表取締役社長 勝部 迅也

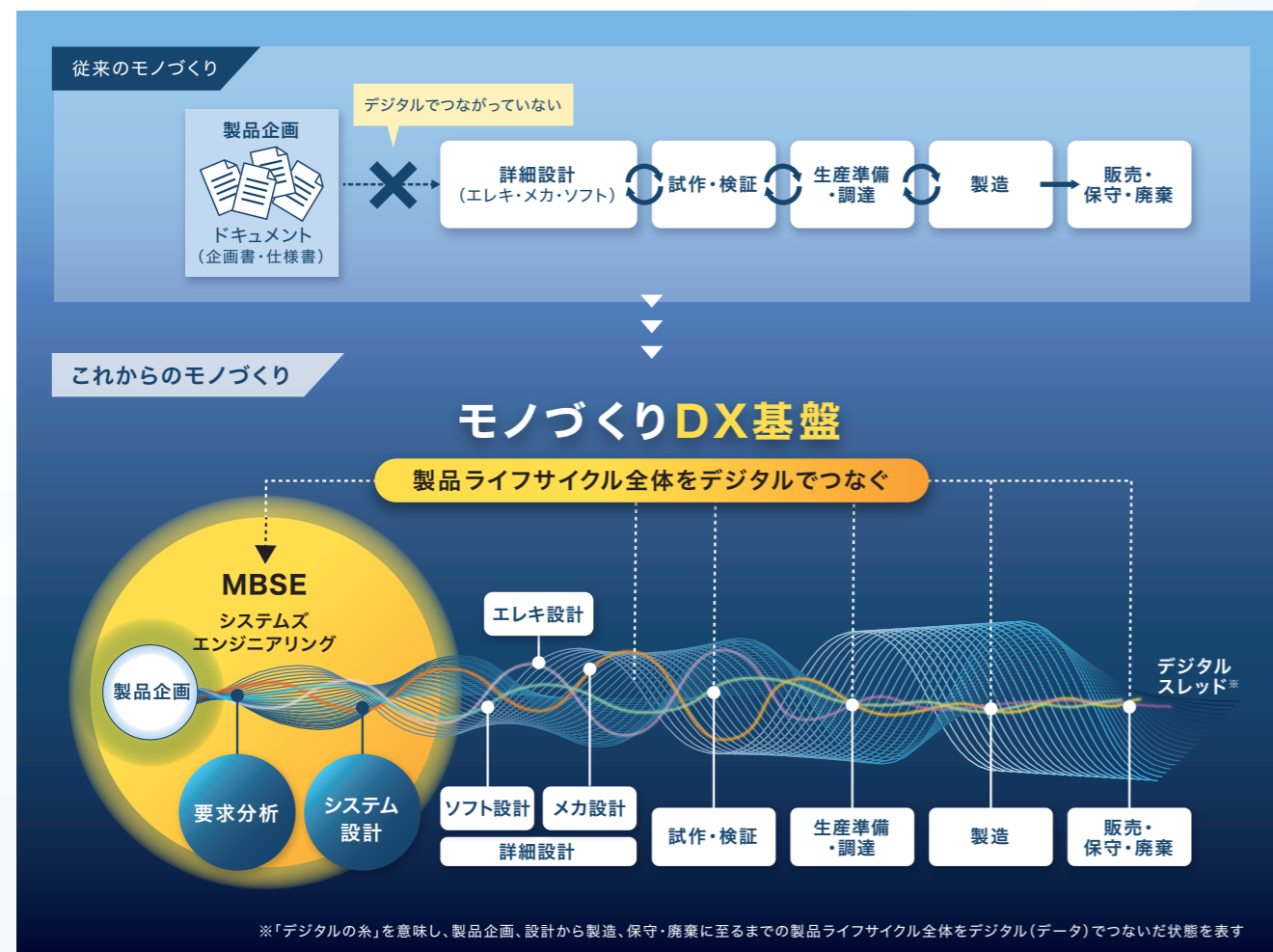
# Our Business

広がる図研の事業領域

## エレクトロニクスの図研から、 Engineering IT Companyへ

図研は創業以来、電気・電子設計ソリューションの提供を通してエレクトロニクス製品開発を支えてきました。いま、通信技術、人工知能、コンピューティング能力などの著しい進化が、モノづくりのプロセスそのものにも大きな変革を促しています。製造業のお客様が、さまざまな技術ドメインを俯瞰的に捉えて、革新的な製品開発をより効果的かつスピーディに実現していくため、図研はエレクトロニクス分野に留まることなく、より幅広いエンジニアリングソリューションの提供を目指しています。

### モノづくりを成功に導くエンジニアリングプロセス改革



### モデルベース・システムズエンジニアリング (MBSE)

「つながる世界」の製品開発を支援する新たなエンジニアリング

あらゆる製品が「つながる」ことにより、モノづくりは複雑かつ高度なシステムの相互連携を前提とした機能開発が求められています。このような複合システムの開発において、製品の企画・構想段階でシステム全体を俯瞰し最適解を導き出すことができるMBSEを提案し、導入/運用コンサルティングとツール提供の両面で支援しています。



MBSEのモデリングツール。従来、ドキュメントベースで行っていた製品企画や要求分析を「システムモデル」で表現・管理することで、製品ライフサイクル全体における情報の整合性を確保し、設計変更に伴う影響範囲を可視化することができます。



### エレクトロニクス設計 (EDA)

エレクトロニクス製品開発のプラットフォームとなるプリント基板設計ソリューション

エレクトロニクス製品の高度な機能は、半導体などの電子部品を搭載したプリント基板 (PCB) の電子回路により実現されています。その電気/電子システムの設計製造を自動化・最適化するためのソフトウェアを提供しています。



半導体/パッケージ/プリント基板など複数の異なるオブジェクトをシステムとして捉えて設計・検証する電子機器設計プラットフォーム。3D技術やAI技術の活用により、設計プロセスを革新し業務効率の向上に貢献します。



### 電気制御・ケーブル設計

産業機器開発の効率化や高品質化に貢献する配線設計支援ソリューション

産業機器や電子機器の内部には、ユニットや部品間を電氣的に接続、制御するためのケーブルやハーネスが複雑に張り巡らされています。このケーブルやハーネスの設計を効率化するシステムを提供しています。



電気制御・電装およびケーブル、ハーネス設計のための統合電気CADソフトウェア。図面や部品データのリアルタイム連携、設計成果物の自動出力により、電装設計業務の効率化に貢献します。



### エンジニアリングデータマネジメント (EDM)

E/E (電気/電子) 設計を熟知した図研だからできる製品ライフサイクルマネジメント

電子部品情報の一元管理、部品・回路・基板の各情報を連携させて保持する設計成果物管理など、他社の追随を許さない完成度でエレクトロニクス製品開発に最適化された製品データマネジメントシステムを提供しています。



電気設計システム CR-8000やE3.series、他社ツールと連携する電子機器設計・製造支援プラットフォーム。設計データや電子部品情報を一元管理することにより、設計品質の向上や開発期間の短縮に貢献します。



### 自動車電装・ワイヤハーネス設計

次世代モビリティ開発のための先進E/Eシステム設計ソリューション

最先端の車載エレクトロニクスシステムを多数搭載し、高度化・複雑化する自動車開発。その開発の中核を担うE/Eシステム設計環境を提供し、製品開発の効率化や品質向上に貢献しています。



自動車などの輸送機器向け次世代E/Eシステム設計・製造支援プラットフォーム。ジェネラティブデザインにより、配線情報やハーネス部品情報を自動生成し、回路設計からワイヤハーネス、製造設計までのプロセスを大幅に効率化します。



# Our History

着実に積み重ねてきた提供価値

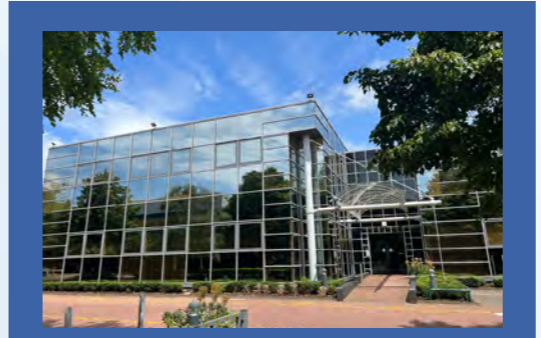
図研は1976年の創業以来、エレクトロニクス産業の発展とともに歩んできました。  
 社会を豊かにするさまざまな電子機器の開発を陰で支えながら、エレクトロニクスが使われる分野の広がりとともに、  
 そのソリューションの幅を広げ、事業領域を着実に拡大してきました。  
 新たなテクノロジーに挑戦する世界中のお客様とともに、図研も挑戦し続けます。



発表当時のクリエイト2000  
 国内初のCAD/CAMシステムで、  
 プリント基板設計自動化への道を拓く



エレクトロニクス製品の小型化に貢献  
 エレクトロニクス産業の発展とともに、  
 確固たる事業基盤を築く



ドイツ、イギリスに研究開発拠点を展開  
 研究開発・事業開発体制の  
 グローバル化を推進



日本の製造業向けにMBSE製品戦略を発表  
 MBSEソリューションを展開  
 事業領域を拡大し、製造業DX支援を強化

2024年3月期  
 384億円

## 連結売上高推移

### 1970

- 1976.12 (株)図形処理技術研究所として設立
- 1978.6 国産初のプリント基板設計用CAD/CAMシステム「クリエイト2000」を開発

### 1980

- 1983.11 米国にZuken America Inc. (現・Zuken USA Inc.)を設立
- 1988.1 CADの新システム「CR-3000」を開発

### 1990

- 1991.10 EDA企業として初めて株式を東証2部に上場
- 1992.1 ドイツにZuken Europe GmbH (現・Zuken GmbH)を設立
- 1992.1 韓国にZuken Korea Inc.を設立
- 1992.8 シンガポールにZuken Singapore Pte. Ltd.を設立
- 1994.4 EDA垂直統合ソリューション「CR-5000」を開発
- 1994.6 レーカル・リダック社(英)を子会社化
- 1994.9 東証1部へ指定替え
- 1996.5 エレクトロニクス設計に特化したデータ管理ソリューション「ePDM DS-1」を開発

### 2000

- 2000.3 インケイシス社(独)の全株式を取得
- 2002.3 自動車用ワイヤハーネス設計環境の提供開始
- 2002.6 中国に上海テクニカルセンターを設立
- 2004.2 E&Eプロセスを中心としたライフサイクル管理ソリューション「ePLMプラットフォームDS-2」を発表
- 2005.8 台湾にZuken Taiwan Inc.を設立
- 2006.5 CIM-TEAM社(独)(現・Zuken E3 GmbH)を買収
- 2007.6 CATIA V5をベースとした「V54EE」を発売
- 2009.6 PLMソリューションの新製品「PreSight」を発表

### 2010

- 2010.5 ラティス・テクノロジー(株)と資本提携、トヨタ自動車(株)に次ぐ第二位の株主に
- 2011.6 BOMと超軽量三次元フォーマットXVLを統合した「visual BOM」を発表
- 2011.10 次世代電子機器設計システム「CR-8000」を世界同時発表
- 2014.8 ドイツにGlobal Automotive and Transportation Competence Centerを開設
- 2014.12 東洋ビジネスエンジニアリング(株)(現・ビジネスエンジニアリング(株))と資本業務提携
- 2015.3 インドにZuken India Private Limitedを設立
- 2015.7 (株)ワイ・ディ・シーの「CADVANCE事業」(電気系CAD・PDM関連事業)を継承
- 2016.4 プリサイト事業を分社化し、(株)図研プリサイトとして発足
- 2017.12 アルファテック(株)(現・図研アルファテック(株))を子会社化
- 2019.8 Vitech Corporation(米)(現・Zuken Vitech Inc.)を子会社化
- 2019.9 ギリア(株)と資本業務提携
- 2019.10 図研モデリング(株)を設立

### 2020

- 2021.11 ビジネスエンジニアリング(株)の株式を追加取得し、持分法適用関連会社化
- 2022.4 東証1部からプライム市場へ移行

## エレクトロニクス製品の変遷



# Global Network

日本で生まれ、世界で育てられたソフトウェア

- 本社
- エリア本社
- ビジネス拠点
- 主なR&D拠点
- ▲ 販売拠点

## Japan & Asia

創業の地でもある横浜では、グローバル本社機能を持つ拠点として、日本をはじめ、世界各地の製品開発や事業展開を統括しています。製造業を取り巻く環境がグローバル化・ボーダーレス化する中、製造拠点としてだけでなく製品開発でもその重要性が高まるアジアでは、韓国、シンガポール、中国、台湾、インドに現地法人を設立。各国のお客様のニーズを的確に捉え、最善の提案ができる体制を整えています。



- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 日本 ●●●●● 本社・中央研究所(横浜) | 韓国 ●●●●● Zuken Korea Inc.                      |
| ● センター南ビル(横浜)         | シンガポール ●●●●● Zuken Singapore Pte. Ltd.         |
| ● 新横浜ビル(横浜)           | 中国 ●●●●● Zuken Shanghai Technical Center       |
| ● 関西支社(大阪)            | ●●●●● Zuken Inc.Shenzhen Representative Office |
| ● 名古屋支社(名古屋)          | 台湾 ●●●●● Zuken Taiwan Inc.                     |
|                       | インド ●●●●● Zuken India Private Limited          |

## Americas

世界のモノづくりに大きな影響を与えるイノベティブな企業が多い北米は、図研にとって重要な事業開発の拠点です。この市場で図研はトップクラスの在米ハイテク企業を多数顧客に持ち、最先端のソリューションを提供しています。また、システムズエンジニアリング領域で数多くの実績を持つZUKEN Vitechを中心に、MBSEソリューションの製品開発を進めています。



- 米国 ●●●●● Zuken USA Inc.(American Headquarters)
- Zuken Vitech Inc.

## Europe

産業機械や自動車関連などの分野で世界市場をリードする企業が多数存在する欧州において、図研は確固たる事業基盤を築いています。販売拠点だけでなく、自動配線技術・解析技術など、エレクトロニクス設計ソリューションの核となる技術開発を行う拠点も有しています。ドイツ、イギリスの研究開発拠点は、図研のグローバル市場に向けた次世代E/E設計ソリューションの一翼を担っています。



- |  |   |
|--|---|
| イギリス ●●●●● Zuken Ltd. (Zuken Technology Center)/<br>Zuken Group Ltd. / Zuken UK Ltd. | ポーランド ●●●●● Zuken E3 GmbH Sp.z o.o          |
| ドイツ ●●●●● Zuken GmbH (European Headquarters)   | スイス ●●●●● Zuken E3 GmbH, Zweigniederlassung |
| ●●●●● Zuken E3 GmbH (Laemmerweg)   | フランス ●●●●● Zuken S.A.                       |
| ●●●●● Zuken E3 GmbH (Sedanstr.)  | イタリア ●●●●● Zuken S.r.l.                     |
| ●●●●● Zuken GmbH (EMC Technology Center)   | オランダ ●●●●● Zuken GmbH, Sales Office Benelux |
| ●●●●● Zuken E3 GmbH Office Nord  |   |
| ●●●●● Zuken E3 GmbH (Global Automotive and<br>Transportation Competence Center)      |   |

図研および図研の海外法人の従業員数  
(2024年3月末時点)



※国内関係会社の人員および海外駐在員は含みません。

# Sustainability

サステナビリティ

## エンジニアリングITのチカラで、持続可能な未来を創る企業へ

図研の事業目的は、ITによって製造業のエンジニアリング・プロセスを効率化していくことです。エンジニアリング・プロセスの効率化は、設計や製造のみならず、調達、サービス業務の効率化を通じて、サプライチェーン全体で地球環境への負荷低減にも貢献することができます。また、図研の技術は、省エネルギー、小型・軽量化を目指す製造業の製品開発に無くてはならないものであり、そうした製品が普及することが広く持続可能な社会の実現にもつながります。

この「持続可能な社会の実現」という視点を経営戦略、成長戦略立案の中により明確に取り入れ、提供できる製品やソリューションの幅をさらに広げていくことで、持続可能な未来に貢献していく企業を目指します。

### ▶ マテリアリティ (重要課題)

マテリアリティの特定において、図研グループの事業に及ぼす外部環境の変化やステークホルダーからの期待を踏まえて課題を抽出し、各課題についてリスク・機会の視点で重要度を評価し、以下の3つを重要課題として特定しました。



エンジニアリングITによる  
持続可能なモノづくりへの貢献

製品開発の効率化やスマート(知能)化を実現するソリューションへの開発投資を強化し、技術伝承や人材不足、環境負荷の低減などのモノづくりを取り巻く課題解決に貢献します。また、当社のエンジニアリングITの知見を活かし、お客様企業内のデジタル人材の育成やリスキリングを支援するサービスを拡充します。



人的資本の拡充

ソフトウェア事業の源泉である人的資本を拡充するため、多様な人材がいきいきと働き、長期にわたりキャリア形成ができる職場環境を目指します。



機動的かつ  
健全なガバナンスの確立

変化の激しい事業環境に迅速かつ機動的に対応し、適法かつ適正で健全性の高い企業活動を行うため経営体制を強化します。

### ▶ 主な取り組み

#### 女性活躍支援

多様な視点や価値観の存在が企業の成長につながると考え、男女、国籍を問わず適材適所の人材配置を行っています。そして、適材適所の考え方に基き、女性の採用と基幹職への登用を促進しています。また、女性のキャリア形成支援として、女性が安心して長期間働くことができる職場環境や制度を備えています。具体的には、各種休暇制度や小学校3年生修了までを対象とする法定期間を上回る短時間勤務制度などを導入し、仕事と育児の両立を支援しています。

#### リモートワーク制度

自然災害リスクに備え、社員の生命と安全を守り、事業の継続性を確保するために、リモートワーク制度を導入しています。会社での勤務と自宅での勤務を組み合わせた働き方ができる環境を整えています。

#### デジタル人材の育成

社員のリスキリングのため、外部研修を活用したIT・デジタル研修を実施し、幅広いスキルを兼ね備えたデジタル人材の育成を推進しています。また、社員自らITスキルを高めることを奨励し、IT資格の取得に応じた報奨金制度を導入しています。

#### 次世代プロジェクト、エンジニア支援

モノづくり環境の発展に貢献するため、モノづくりを通して社会課題の解決を目指す次世代プロジェクトの支援や未来のモノづくりを担うエンジニアの育成支援に積極的に取り組んでいます。

サステナビリティに関するその他取り組みは、コーポレートサイトに掲載しています。

<https://www.zuken.co.jp/sustainability/>



持続可能なモノづくり環境の実現に向け、事業を通じて社会課題解決に取り組んでいます

## 環境に優しい水素燃料電池車の開発効率化に貢献

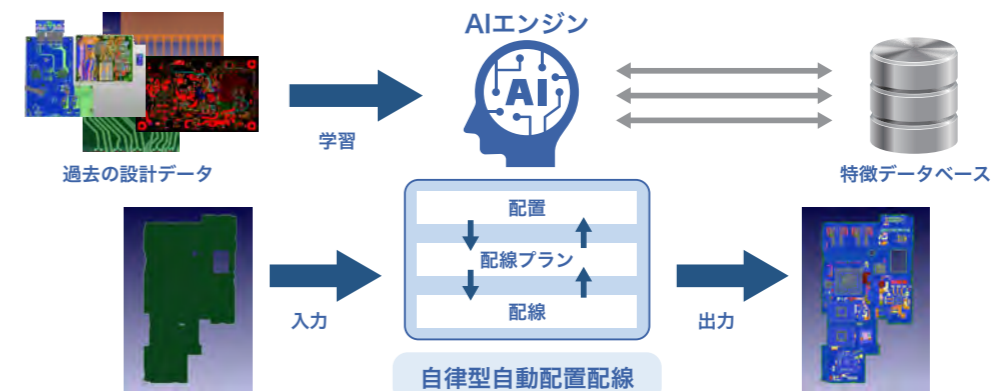
水素駆動システムを開発するスイスの GreenGT 社は、水素燃料電池車のプロトタイプ開発において図研の電気制御設計システム E3.seriesを採用しています。プロトタイプ開発では、短いスケジュールのなかで、安全性の担保された高品質な製品開発が求められます。同社は、水素燃料電池車向けの燃料電池システムや駆動システムの電気設計において、E3.seriesを活用することで回路設計やワイヤハーネス設計の業務を効率化し、開発期間の短縮を実現しています。



## 製造業の人材不足問題の一助に。AI活用でプリント基板設計を革新

近年の電子機器の小型化・高機能化に伴い、電気設計に関わる工数は増大しています。また、エンジニア不足も深刻化し、モノづくりの省力化・自動化が製造業における共通課題となっています。図研は、この課題に対し電気設計の作業効率を大幅に向上させるソリューションとして、AIを活用したプリント基板用の自動配置配線機能「Autonomous Intelligent Place and Route」の開発を継続的に行っています。この機能により、従来の機械的な自動配線ではなく、設計者の嗜好や特徴を反映した人手に近い自動配置配線を実現することを目指しています。

### 設計データを学習する特徴データベースを活用



### Autonomous Intelligent Place and Route

## 世界をリードするソフトウェアエンジニアの育成を支援

モノづくり環境および文化の発展に貢献するため、世界をリードする組込みソフトウェアエンジニアの育成を目的とした競技大会「ETロボコン」に協賛しています。また、図研からも新入社員のチームが参戦し、ソフトウェアの企画、設計から開発までの一連のプロセスを習得し、実践的な問題解決学習 (Project-Based-Learning) の場として新人エンジニア育成に活用しています。

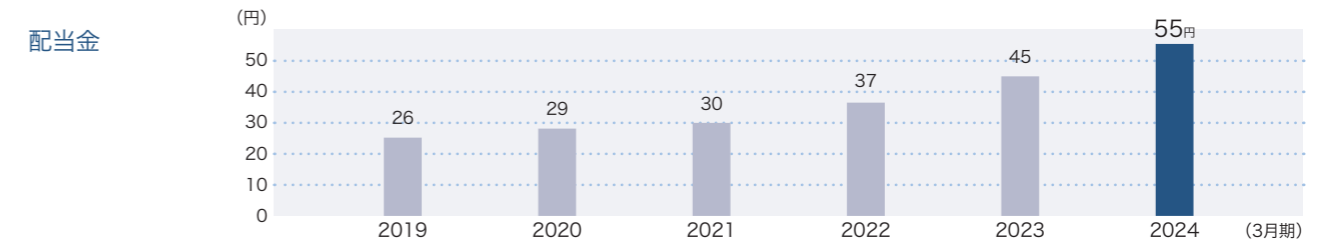
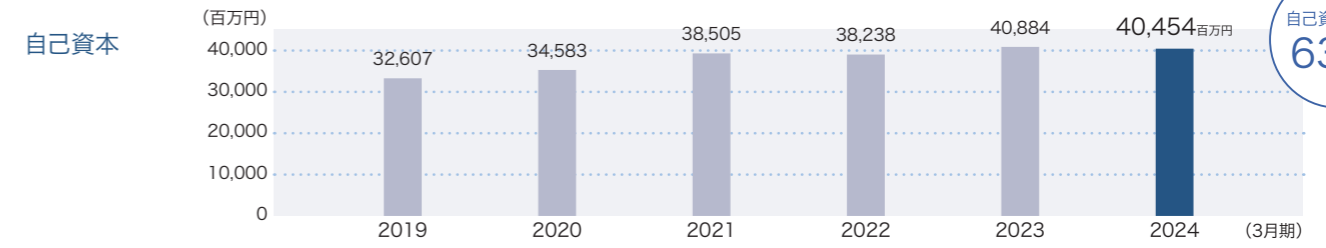
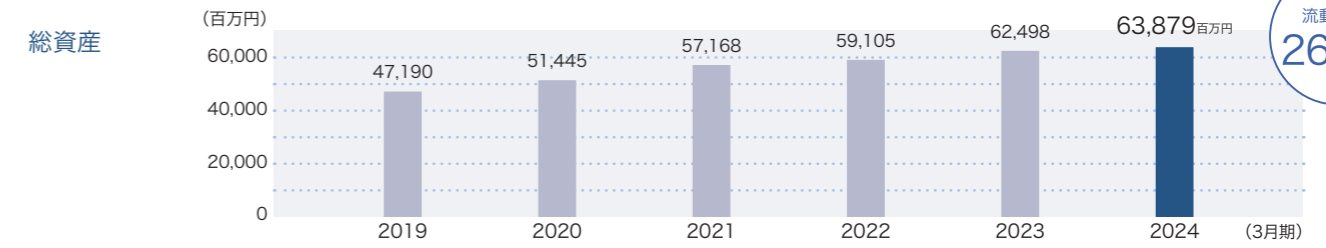
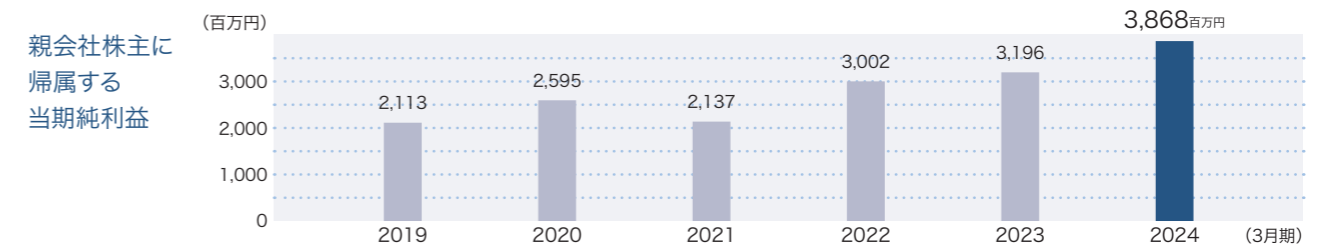
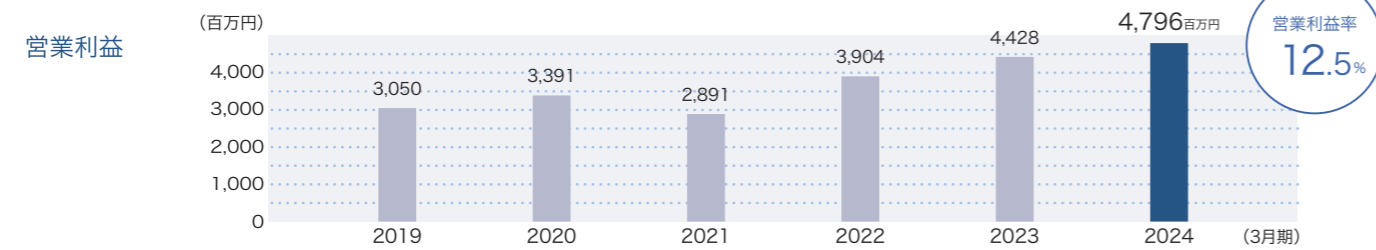
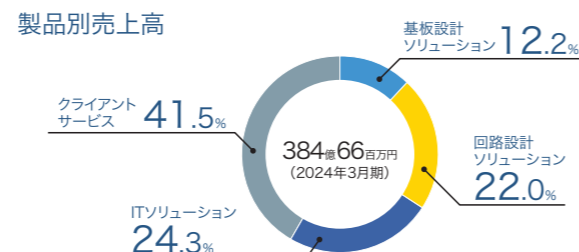
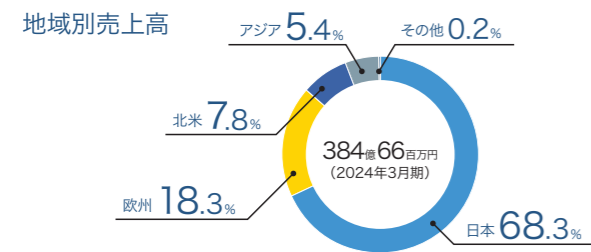
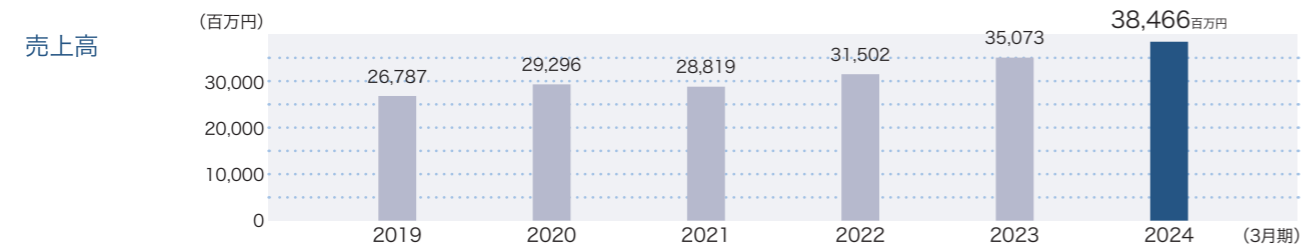


# Financial Information

## 安定した財務基盤

製造業にとって、将来の成長を左右する重要な基幹業務である製品開発。図研が提供するの、そこで求められるさまざまなソリューションです。お客様の製品開発戦略を支え、長期にわたって安心してお使いいただくためには、ソリューションを提供する会社として私たち自身が安定した経営基盤をもつことが必要です。また、技術革新の激しい情報技術の世界において、最先端の技術をタイムリーに提供し続けていくためには、機動的に投資を行っていかねばなりません。

だからこそ、図研は創業以来、健全な財務基盤を確立し維持していくことを、重要な経営戦略の一つと考えています。



## Group Companies In Japan

### 国内グループ会社

図研グループは、さまざまな技術やサービスを通じて、お客様の「つくる力」に幅広く貢献しています。



図研テック株式会社

CADの導入・立ち上げ・運用をはじめとした、設計開発業務を幅広く支援するための各種コンサルティング、オンサイトマネージャ・エンジニア派遣、受託サービスなどを提供しています。



図研ネットウェイブ株式会社

今や企業活動にとって不可欠のインフラである情報ネットワーク。セキュリティソリューションやストレージなどの企業ネットワークに係る最新技術のハードウェア・ソフトウェアの販売・サポートや、構築コンサルティングなどを行っています。



図研エルミック株式会社

低遅延ストリーミング、通信プロトコルに関するノウハウと技術資産をベースに組み込みソフトウェアの受託開発を行っています。特に、セキュリティ機器、産業用ネットワーク、車載通信の分野で多くの実績があります。



株式会社図研プリサイト

軽量化された三次元データと部品表(BOM)を連携させる技術をベースにした製品ライフサイクルマネジメント(PLM)システムや、ユーザに負荷をかけないナレッジ活用ソリューションなど、製造業を支援する独創的な製品を企画・開発しています。



図研アルファテック株式会社

メカトロニクス業界向けの電気CADの開発・販売・サポート、2D/3D汎用メカニカルCAD・CAEの販売やカスタマイゼーションなどを行っています。新たな事業として、今後普及が予想される3Dモデリング技術の建築分野への適用も推進しています。



図研モデリンクス株式会社

製品開発においてMBD(モデルベース開発)、MBSE(モデルベースシステムズエンジニアリング)などの手法の導入・運用を目指す企業に対して、開発支援サービスを中心とした総合的なソリューション提案を行っています。



ビジネスエンジニアリング株式会社

グローバル市場で活躍する製造業のお客様向けに、ERP(企業資源計画)導入コンサルティングや構築・運用サービス、SCM(サプライチェーン管理)パッケージシステムの開発販売など、豊富なITソリューションで業務改革を支援しています。



# ZUKEN

The Partner For Success

社名	株式会社 図研 [ZUKEN Inc.]	取締役・監査役	代表取締役会長	金子 真人
設立	1976年12月17日		代表取締役社長	勝部 迅也
本社所在地	〒224-8585 横浜市都筑区荏田東2-25-1		代表取締役副社長	相馬 肅一
資本金	101億1,706万5,000円		取締役*	佐野 高志
従業員	434名 連結1,578名(2024年3月31日現在)		取締役*	高原 わかな
株式市場	東京証券取引所プライム市場		監査役(常勤)	和田 扶佐夫
事業内容	製造業における製品設計・開発業務全体の高度化・最適化を支援する、各種ITシステムの開発・製造・販売や、コンサルティングサービスなど	執行役員	監査役*	半田 高史
			監査役*	高田 保豊
			※は社外取締役および社外監査役です。	
		専務執行役員	専務執行役員	仮屋 和浩
		執行役員	執行役員	上野 泰生
		執行役員	執行役員	藤原 宏行
		執行役員	執行役員	大澤 岳夫
		執行役員	執行役員	早乙女 幸一
		執行役員	執行役員	奈良 功
		執行役員	執行役員	大塚 隆夫

